



勉強して何の役に立つの？

早いもので、今週で1月が終わり、2月が始まります。2月12日（火）には学習の診断（1・2年生）と第2回総合診断（3年生）、2月22日（金）～26日（火）には学年末テスト（1・2年生）があります。受験シーズンに突入した3年生はもちろんですが、1・2年生もまた、学習面で学年を締めくくる大切な時期を迎えています。それぞれ、準備は順調に進んでいますか。

分かってはいるけど、勉強の苦しさ、面倒くささからつい逃げたくなるのも人間です。そんな時は、「何のために勉強をしているのか」「勉強が何の役に立つのか」、少し考えてみませんか。

答えは一つではありませんが、皆さんが自分なりの考えをもって勉強に頑張れるように、ヒントを三つ、以下に紹介しましょう。

●塾講師の春見先生（深田恭子）のセリフから●

高校生：「勉強して何の役に立つの？」（授業を全く聞こうとしない高校生たちの声）

先生：「…私もそう思うよ。子供の頃からめっちゃくちゃ勉強してきたけど、就活の時も、婚活の時も、何にも役に立たなかった。何にも考えないで、言われるままに勉強してきたから。

だから君たちが、自分には勉強は必要ないと思うなら、好きにしたらって思う。

だけどさ、自分のことはどうでもよくても、君らに大事な人ができたとき、その人を守ることができないのは自分を守れないよりきっと悲しいよ。（中略）

想像してみて、どんな自分になりたいか。そのためにはどんな勉強が必要か。そう考えて勉強した知識や努力は、私みたいに人生しくじったときも、きっと君らを助けてくれるよ。だから頑張るって、君と君の未来の大事な人のために。」

（ドラマ「初めて恋をした日に読む話（第2話）」より）

●映画「たそがれ清兵衛」の父と娘の会話から●

夜なべで内職の虫かごを作る清兵衛（せいべえ）の隣で、娘の萱野（かやの）が「論語」を読みながら、ふと清兵衛に声をかける。

萱野：「おとはん。針仕事習って上手になれば、いつかは着物や浴衣が縫えるようになるだろ？ だば、学問したら何の役に立つんだろ？」

清兵衛：「学問は…、針仕事のように役に立たねえかも。…学問しえば自分の頭でものを考えることができるようになる。考える力がつく。この先、世の中どう変わっても、考える力持っていれば、何とかして生きていくことができる。これは男っ子も女っ子も同じことだ。わかるか？」

（藤沢周平原作 山田洋次監督 映画「たそがれ清兵衛」より）

●「70歳の高校生」佐藤幸子さん（高松市）の言葉から●

最近、高校を卒業した後の自分をよく想像します。大学生になって若い人たちと語り合う私。外国人と英語でおしゃべりしている私。もっとレベルの高い資格試験に挑戦する私……。もしかしたら妄想かもしれない。でも、とてもワクワクしている自分がそこにいます。このワクワク感こそ、私の原動力。

最後に、私の座右の銘を述べさせていただきます。『何かを始めるのに、遅すぎることはない。』

（全国高校定時制通信制生活体験発表大会 文部科学大臣賞受賞作品「70歳の高校生」より）